

くりばやし 栗林遺跡(下郷町中妻字栗林) 発掘調査現地公開のお知らせ

福島県教育委員会

- 1 日時 令和3年7月17日(土) 13時30分から15時30分 ※小雨決行
- 2 場所 下郷町中妻字栗林 栗林遺跡現地
- 3 内容

福島県教育委員会では、国土交通省東北地方整備局郡山国道事務所が実施している会津縦貫南道路湯野上バイパス建設に伴う栗林遺跡の発掘調査を、平成27年度から実施しています。

本遺跡は、下郷町中妻地区を中心に広がっています。これまでの調査で、縄文時代中期のころから後期の初め(約5,000~4,000年前)にかけてつくられたとみられる^{たてあな}竪穴住居跡約100軒、落とし穴や木の実を貯蔵した土坑約500基、土器埋設遺構約110基など、非常に多くの遺構や土器・石器などの遺物が見つかっています。

4 その他

- 当日は係員の指示に従ってください。
- 歩きやすい靴、服装でお越しください。
- 駐車スペースには限りがあります。乗り合わせ等御協力をお願いします。
- 当日悪天候の場合は中止となります。
- 37.5℃以上の発熱がある場合など、体調不良の場合には見学を御遠慮下さい。



【竪穴住居跡の土器埋設遺構】

2個体の土器を^{いれこじょう}入子状に埋設し、この上に板石をおいて蓋をしています。出土した土器はいずれも関東系の深鉢(かそりE式系)を用いています。

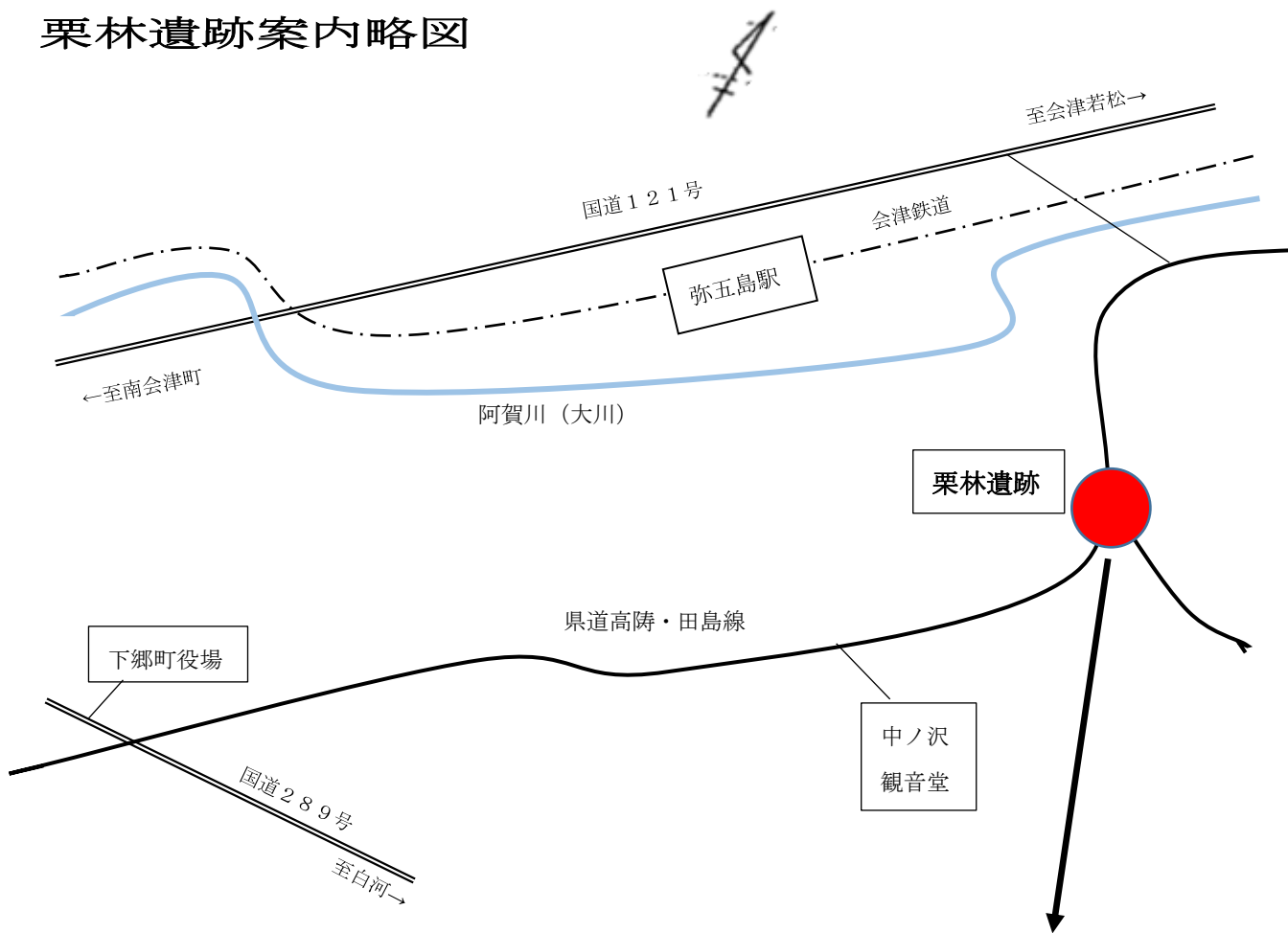
住居入口部の埋設土器は、乳幼児の遺体を納めたとされており、調査でも骨片などの微細なものを探すため、土器内の土を採取しました。



【縄文時代中期末葉の竪穴住居跡】

○お問い合わせ先：福島県教育庁文化財課
担当：文化財主査 紺野 修
電話：024-521-7787

栗林遺跡案内略図



集合場所・駐車場

